

オランダ・ベルギー建築視察

アムステルダム、ユトレヒト、デンハーグ、デルフト、ロッテルダム、ブルージュ、ゲント、ブリュッセル



ガッツのオランダ×落ち着いたベルギーで...

近代&現代建築、スマートシティ & 古い街...歩いた平均1.7万歩/日

2015年南雄三ツアはオランダ&「ベルギー。「自然は神が創ったがオランダはオランダ人が創った」と胸を張るガッツに溢れたオランダ。ベルギーはバイキング起源の古い歴史に彩られて優雅にアールヌーボーを花開かせた。そんな二つの国を走りながら建築デザインの歴史を古典からモダニズム、そして現代に亘って観て歩いた。バスから降りて歩いてまた乗って...実に一日平均1.7万歩を記録した。オランダの現代建築は古い建築などおこまいなしの激しい形と色をみせ、それもまたダッチデザインと笑ってみせる。数年続けた省エネ視察はもっと大きな視野の省エネに転換。古巣のソーラー団地アメルスフォールトとアムス・スマートシティプログラムを勉強。せわしないアムスを出て、珠玉の街デルフト、ブルージュに泊まってヨーロッパの空気を味わい、ブリュッセルを丸一日歩いた後は高級レストランで反省会。両国民はやさしく我々を迎えてくれたが、オルタ自邸では「触らないで」と日本人女性ガイドにがっちり叱られて（体じゃなくて展示物に）...

図書館3題

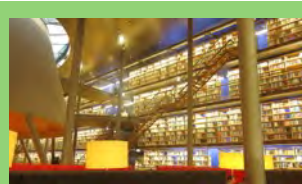
アムステルダム公共図書館

設計：ヨー・クーン
中央駅から歩いて3分。
9階建てで欧州最大。図書空間は事務所的。



BOOK MOUNTAIN

設計：MVRDV ニュータウンにある小さな図書館。本棚をらせん状に積み上げたら山になった。



デルフト工科大学図書館

設計：メカノアの建築家達
円錐状の読書空間がお見事。そこから日照も取り込んでいる。外は柔らかに屋上緑化と硝子。



アムステルダム スマートシティプログラム

旧市街と空港を結ぶ線上にオフィス街を建設。世界一のサステナブルビルもあるが、全体としてどこがスマートなのかピンとこない。



アメルスフォールト

5千人の街作りをサステナブルデザインで実施。単なるゼロエネじゃなくてエコの幅はあるがソーラー機器がゴぼけてみえた



東部湾岸地区開発

アムス中央駅の東に開発された住宅地。埋め立て地なのに緑豊富でゆったり。著名な建築家達が競演。水辺を楽しむ設計。



キューブハウス

ロッテルダムの中心部にあるカプセル住宅。評価はすごく高いというが何をよとするかがオランダではわからなくなる。中は3階で思ったより開放的だが外には閉鎖。上り下りが大変。



①



②



③



④



⑤

ダッチデザイン爆発の現代建築

オランダの現代建築は古い建物との協調なんてどこ吹く風。たっぷり観て歩きました。



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

①ユトレヒト大学学生寮/設計マーリー・ローマー、②応用科学HU大学/エクトール・ホグスタッド、③アルミニウムフォレスト/ミカ・デ・ハース、④オランダ視聴覚研究所(ヒルパーサム)/ヌーテリンフス・リーダイク建築事務所、⑤アイ・フィルム協会(アムス)/テルガン・マイスル、⑥ロッテルダム中央駅/バンタム・クラウウェル、MVSA、ウェスト8、アーバン&ランドスケープ社、⑦フードセンター(ロッテルダム)/MVRDV、⑧ING House/メイエル&ファン・スホーテン、⑨オクラホマ高齢者用集合住宅(アムス)/MVRDV、⑩アナコンダ橋(アムス)/WEST8



インテル・ホテルズ/アムステルダム新興住宅地ザランダムに最近できた。幾つもの家を積み上げたような建築設計はWAMアーキテクト



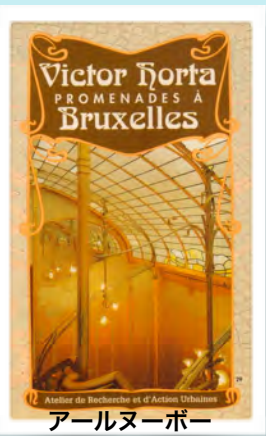
ザーンセ・スカンス(エコミュージアム)



250年も前は600基もの風車がある工業地域だった。野外博物館として当時の生活をみせが、保存地区には今も人が住む。

モダニズム前期の葛藤

アールヌーボー(新芸術)がしがらみだらけの古典を崩し、次に機能主義のモダニズムが起こる。その狭間で、あるべきデザインを模索してオランダで同時に起こったのがデ・スティールとアムステルダム派。デ・スティールは形(直線)も色(赤・青・黄色の三原色と白・黒・グレー)も根源を追求し、アムステルダムは自由な表現を楽しんだ。二つの相反するデザインが対峙していた。



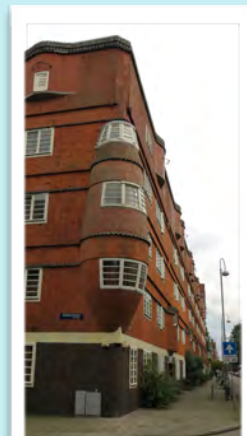
ピクトール・オルタ自邸



シュレッター邸/設計リトフェルト
デ・スティール



デ・スティールの中核モンドリアン



アムステルダム派
アイエンハール集合住宅



マウリッツ・ハウス
(デン・ハーグ)



この瞳に酔い...

美術館2題



クレラー・ミュラー美術館(デン・ハーグ)



富豪クレラー・ミュラー夫妻の豪邸
設計はオランダ近代建築の父ペルラーヘ